土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　地明地区 測量設計地質調査業務委託(急傾斜地崩壊対策・交付金)

事業名 または 工事名　地明地区 測量設計地質調査業務委託(急傾斜地崩壊対策・交付金)

調査目的及び調査対象　その他 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	No.5	**調査位置**	広島県庄原市西城町 小鳥原			**北緯**	35° 00′ 57.845″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2022年 11月 2日 ～ 2022年 11月 7日	**東経**	133° 09′ 11.950″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 490.55m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 19°
総削孔長	6.00m	**使用機種**	**試錐機**	東邦D1-B	**エンジン**	ヤンマーNFD-12	**ポンプ** 東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1 2 3	487.40	3.15		シルト混り砂質礫	GS-M	暗黄褐	緩い～中ぐらい		完新世	深度0.20mまで暗灰褐の表土を含む。 所々に草根・木片を含む。 φ=10～60mmの角礫主体。部分的に少量円礫含む。 シルト分1割り程度。 砂分は粗粒砂を2割程度含む。	
4 5 6	484.55	6.00		流紋岩・軟岩	Ry_WR	暗青灰			後期白亜紀	岩盤等級CL～CH級。 採取コアは概ね岩片状。 部分的に短柱状や砂礫状コアを呈す。 岩片はハンマー打撃で細片～礫状に割れる。 亀裂角度は70～85度，30～40度が認められる。 亀裂面は部分的に酸化し褐色汚染受ける。	
7 8 9 10 11 12 13 14											

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
9	1.15	4	3	2	9/300		
	1.45						
11	2.15	3	3	5	11/300		
	2.45						
150	3.15	50			50/100	100	
	3.25						
	4.00	貫入不能			50/0		
	4.00						
	5.00	貫入不能			50/0		
	5.00						
	6.00	貫入不能			50/0		
	6.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					11/2
					11/7